

## 平成 27 年度 第 2 回学校関係者評価委員会 記録

日 時：平成 28 年 2 月 5 日（金）15：00～16：30

場 所：名古屋芸術大学保育専門学校 本館 2 階会議室

出席者：高田道雄（本校同窓会長・マハヤナ幼稚園長）、日比勇三（本校後援会長・愛名保育園長）、  
鈴木照美（愛知県教育大学非常勤講師）、武石協子（たきこ幼児園長）、  
藤澤卓美（本校校長）、畔柳守男（本校副校長）、木村節治（本校保育科長）、  
浦野 忍（本校教学主任）（敬称略）

議 長：藤澤校長（記録：浦野教学主任）（敬称略）

### 1. 開会のあいさつ

副校長から、開会のあいさつと本日の案内がされた。

### 2. 校長あいさつ（校長）

校長から、出席者へのあいさつと評価委員会に関する概要説明がされた。

### 3. 出席者紹介

議長から、別紙資料 1 に沿って委員名簿を基に本学を含め自己紹介がされた。

### 4. 別紙資料の報告（副校長）

#### (1) 平成 27 年度 教育活動について

資料 2～8 に沿って教育活動についての報告がされた。

#### (2) 平成 27 年度 自己点検・評価について

資料 9 に沿って報告がされた。

#### (3) 学生による授業評価

資料 10 に沿って学生の授業評価が報告された。

・校長から、学生評価に対する改善点など各教員のコメントが今後必要となると考えている。

### 5. 協議について

#### (1) 説明に関する質疑

・質疑と兼ねて各委員より意見をもらうことになった。

#### (2) 自己点検・評価についての意見

・最大の利点である隣接の幼稚園、保育園現場を活かすことをさらに充実していく。

・学校の授業のみで資格取得可能であることのポイントをHPでもっとアピールする。

・学校の場所が判かりにくい、道路案内（看板等）が必要である。

・検索すると他校が先に出てくるので、もっと早く検索できる方法を考える。

・名古屋芸術大学のHPからもリンクがもっと簡単にできるように改善する。

・同窓会としては卒業生とのコミュニティーサイトを検討する。

・校名変更前の卒業生もアクセスできるサイトを検討する。

・学生の時から現場で働く保育者につながる教育環境が必要。（例：節電も人感スイッチではな

- ・く意識して蛍光灯を消す姿勢、エアコンの設定温度など)
- ・入学金を値上げするより授業料を上げた方が良いのでは。
- ・全館の蛍光灯をLED照明に取り替えて、少しでも経費減につながるよう努力する。
- ・幼稚園での1年次実施したプレ実習の効果は出ている。学生の質的向上は幼稚園の繁栄と直結している。それ以外でも施設・設備等のより良い環境ができるとよい。
- ・滝子幼稚園の保護者から、学生がいる環境について良い評判がある。
- ・養成校・幼稚園・幼児園の更なる良い関係性ができていくことを期待したい。
- ・経営が厳しくなってきた昨今、園でのブログが効果的であった。そういった情報発信の場がうまく構築できないか。
- ・社会人の受験生を増やすにはインターネットでの広報が重要である。昨年4月からHPをスマートフォン対応にした。

### (3) 平成28年度事業計画の説明

副校長から、毎年5月か6月に年間事業計画について本部からの検討依頼があり、本校の教育全般に係ることを検討し、その結果を法人本部へを提出している。

参考：＜配布資料一覧＞

資料1：出席者

資料2：各種奨学金等受給状況一覧

資料3：実習状況（クラス・実習別・実施時期・人数・県別・実習園数）

資料4：平成27年度就職状況一覧

資料5：平成27年度入試結果（途中経過）表

資料6-1：授業料表

6-2-1：高校訪問先一覧

6-2-2：業者主催 進学ガイダンス参加先一覧

6-2-3：進学相談会、体験入学、参加状況

資料7：平成27年度教員研修実施報告及び予定

資料8：平成27年度学校経営概要・方針

資料9-1：平成27年度自己評価集計表

9-2：平成27年度学校評価報告書（自己評価まとめ）

資料10：前期分授業評価集計表

資料11：平成27年度自己評価に対する各委員の意見書

資料12：本校平成28年度事業計画

以上